

「男女共同参画社会の実現についての市民意識調査」の結果をお知らせします

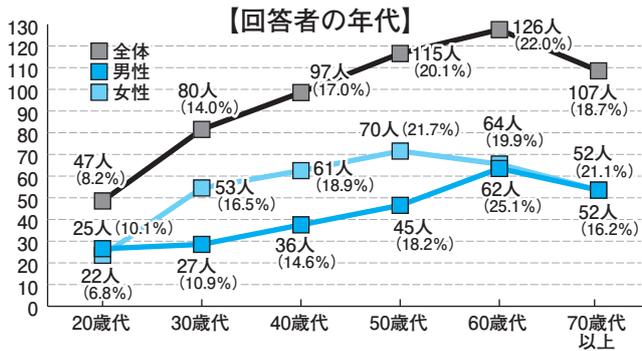
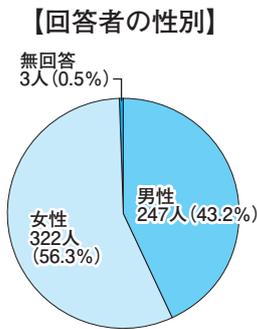


市では、現在、「豊岡市男女共同参画プラン」の改訂作業を進めています。その基礎資料とするため、昨年9月から10月にかけて、「男女共同参画社会の実現についての市民意識調査」を実施しました。このたび、結果がまとまりましたので、主な内容をお知らせします。

《問合せ》秘書広報課広報・交流係 ☎23-11111

調査の概要

- ▽調査期間 平成22年9月24日～10月8日
- ▽対象 年代別に無作為抽出した市内在住の20歳以上の男女1200人
- ▽回答者数 572人



▽回答率 47・7%
(男性41・2%、女性53・7%)

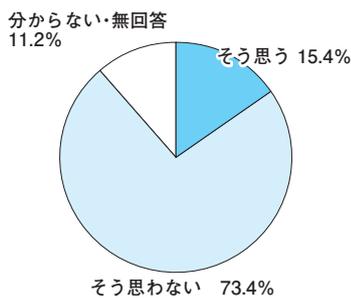
男女の役割分担意識

Q「男は仕事、女は家庭」と思いますか？

「そう思わない」が大半

「そう思わない」と回答した人が全体の7割を超えています。性別では、男性の方が「そう思う」と回答した人が多く、性別役割分担意識が高い

【男は仕事、女は家庭】



結果となりました。

「そう思う」理由として最も多い回答が、「男は外の仕事に、女は家事・育児に適している」であり、一方で「そう思

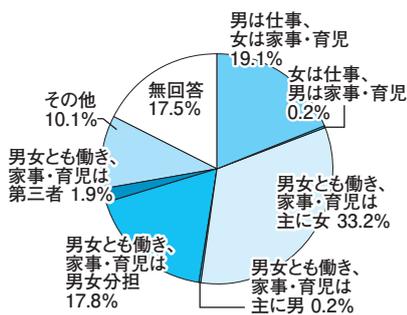
わない」理由として最も多い回答は、「性にかかわらず個性を発揮すればよいことであり、固定する必要はない」でした。

Q 家庭での男女の役割分担は？

家事・育児の現状は「主に女」、理想は「男女分担」

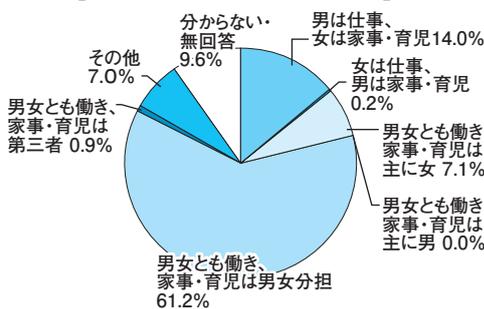
現状では、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している」と回答した人

【家庭での役割分担の現状】



が最も多い結果となりました。一方、理想は、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」と回答した

【家庭での役割分担の理想】



人が最も多い結果となりました。

ただし、男性では、「男は仕事、女は家事・育児を分担している」や「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している」と回答した人も多く、男性は「家事・育児」を女性の仕事とする意識が強い傾向にあるといえます。



